

令和6年度 第1回 大阪公立大学等学長選考会議 議事要旨

日 時 令和6年5月13日（月）10時00分～11時00分

場 所 大阪公立大学 阿倍野キャンパス 医学部学舎1階 応接室

出席者 経営審議会委員：鳥井委員（外部委員）、比嘉委員（外部委員）、酒井委員（内部委員）
教育研究審議会委員：仁科委員（外部委員）、櫻木委員（内部委員）、高橋委員（内部委員）

議 事

【審議事項】

1 大阪公立大学の学長に求められる要件

事務局から、大阪公立大学の学長に求められる要件について、令和5年度第1回学長選考会議にて各委員から出された意見に基づく修正案について説明があった。あらためて各委員から出された下記の意見を踏まえて再度修正案を作成し、メール審議にて最終確定を行うこととなった。

（主なご意見）

- ・「3. 第2代学長として中長期的な構想を持つべき課題」（以下、「3. 持つべき課題」）の中に「教員、研究者のモチベーション向上の施策を講じ」という文言を追加する案となっているが、これは「大学改革」を実行するために必要な施策であると考えられる。しかし、「3. 持つべき課題」の各項目に「大学改革」という文言が記載されていないので、例えば、「持つべき課題」の（5）の中に入れてみてはどうか？
- ・「3. 持つべき課題」の中の（1）～（6）の項目全てが、大学改革についての課題になっているので、どこか一つだけに追加するのは難しい。入れるのであれば、このパートにも前文などを作成し、そこへ入れるというもある。
- ・「2. 学長に求められる資質・能力」（以下、「2. 資質・能力」）の中には、「大学改革」というフレーズが入っているが、より明確に大学改革に触れるのであれば、「大学改革の視点や姿勢が必要である。」という表現を、「大学改革の推進が必要である。」と変えたほうが適切ではないか。
- ・「大学改革」を含む文章が、「2. 資質・能力」前文の途中に入っており、埋もれてしまっているように見える。より強調するのであれば、前文の最後に「大学改革」を含む一文を入れたほうが良いのではないか。

2 大阪公立大学学長候補者選考にかかる告示

事務局から、告示資料「大阪公立大学学長候補者選考について（案）」について、令和5年度第1回学長選考会議にて各委員から出された意見等に基づく修正案について説明があった。

下記、委員からの意見を踏まえ、冒頭文書を修正した内容にて承認された。

(主な説明の概要)

- ・ 前回の学長選考会議では、学長候補者の推薦について「学外諸機関の長からの推薦」も可としていたが、委員から、両大学の融合が進んできている現状や、4年前とは大阪公立大学を取り巻く状況が変わってきていることを鑑みても「学外諸機関の長からの推薦」は必ずしも必要ではないという意見をふまえ、今回の案からは削除した。
- ・ 提出書類のうち「履歴書」については、所定の様式を用意するが任意の書式でも「可」とすることとした。

(主なご意見)

- ・ 告示資料本体の冒頭文書が、
「このたび、公立大学法人大阪は第2代学長の候補者を選出するにあたり、下記により候補者の推薦を受け付けます。」
となっているが、これでは広く世の中に推薦を受け付けるという表現になっている。今回は、学内からの推薦受付のみであるため、
「このたび公立大学法人大阪は、第2代学長候補者を下記により選考することとなりましたので告示します。」
という表現の方が正しいと思われる。

3 学長候補者の推薦にかかる各様式

事務局から、学長候補者の推薦にかかる各様式について説明があり、原案のとおり承認された。

4 学長選考にかかる書類審査方法

事務局から、学長選考にかかる書類審査方法について説明があった。あらためて各委員から出された意見を踏まえて再度修正案を作成し、メール審議にて最終確定を行うこととなった。